

MEMSフォーラムのセッション構成及び発表内容・講演者は以下のとおりです。

【セッション1：MEMS産業基盤強化】

オープン化するMEMS業界：

日経BP社 マイクロデバイス副編集長 三宅常之氏
MOTプロジェクト研究でのMEMS応用事業推進者の育成：

東京理科大学 板生清教授

MEMS人材育成とMEMS商業化技術：

(独)産業技術総合研究所

先進製造プロセス部門 主幹研究員 前田龍太郎氏
MemsONE (MEMS用設計・解析支援システム)

の特長と事例紹介：京都大学 小寺秀俊教授

MEMSファンドリーネットワーク構築に向けた活動紹介：

MEMS協議会ファンドリーサービス産業委員会委員長
松下電工(株) 富井和志氏

【セッション2：産学連携】

3次元マイクロ・ナノ光造形のMEMS・バイオチップ応用：

横浜国立大学大学院 丸尾昭二准教授

ヘテロウエハ接合による3D集積化研究会：

東京大学大学院 須賀唯知教授

分野横断的・新領域対応型研究活動組織 マイクロ・ナノ工学専門会議の発足：京都大学 小寺秀俊教授

【セッション3：Asia MEMS Forum】

MEMS in China Mainland：

Dong F.Wang (Senshu University, Ishinomaki, Japan)

Micro/Nano Technology in Korea：

Young-Ho Cho (KIST, Korea)

MEMS & Nanotechnology in Taiwan：

M.S.Lin (Industrial Technology Research Institute (ITRI))

MEMS Industry Forum (MIF) Towards Virtuous
Cycle of the MEMS Industry Growth of Asia：

Junji Adachi (Micromachine Center, Japan)

【セッション4：調査報告】

MEMS関連市場調査結果報告：

マイクロマシンセンター 阿出川俊一部長

マイクロマシンプロジェクトアウトカム調査結果報告：

(株)日鉄技術情報センター 田村信一部長

BEANS (第3世代MEMSの実現を目指して)：

マイクロマシンセンター 安達淳治部長

ファインMEMSプロジェクト中間成果発表会を開催

マイクロナノ2007イベントの一環としてNEDO委託・助成「高集積・複合MEMS製造技術開発事業(ファインMEMSプロジェクト)」の中間成果発表会(主催：ファインMEMSプロジェクト推進連絡会・財団法人マイクロマシンセンター、共催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、後援：経済産業省)が7月27日(金)に東京国際展示場特設会場にて開催されました。オープニングでは、ご来賓として経済産業省製造産業局産業機械課、岡橋寛明課長補佐と(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、高安正躬理事のお二人をお迎えし、プロジェクトリーダである東京大学大学院情報理工学系研究科長の下山勲教授から「ファインMEMSプロジェクトの概要」と題して、助成事業を含むプロジェクト成果の概要をお話いただきました。引き続き、委託事業の全8テーマの最新成果について各テーマの

開発担当者から詳細に報告され、活発な討論が行われました。発表会終了後には、マイクロマシン/MEMS展示会場内の「NEDO高集積・複合MEMSプロジェクト」ブースにおいて技術相談会を開催し、プロジェクト成果の実用化を目的として、研究開発担当者と来場者が直接議論する場を設けました。

今回の発表会では、特設会場に当初設けた130席が開始と同時に満席となったため、急遽50席を追加いたしました。これも直ぐに満席となり、終始熱気に包まれた会場の雰囲気からは、本プロジェクトへの期待が極めて大きいことが強く感じられました。126名の発表会出席者及び219名の展示会ブース来場者の方からアンケートを集計することが出来ましたので今後分析を行い、本プロジェクトで開発された製造技術の早期実用化に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

